

一人一人が輝く 立南っ子



立南小 校長室だより
令和8年6月15日

草木の生長にとってなくてはならないのが、雨の日と晴れの日です。雨の日ばかりでは、植物は根が腐って育ちません。逆に、晴ればかりでは水分がなくなり枯れてしまいます。子どもたちの成長にも、雨と晴れのように、「やさしさ」と「きびしさ」が必要です。子どもたちのより良い成長のために力を尽くしたいと思います。

「あの子ってすごい」が飛び出すチャンス(この指とまれプロジェクト)

立田南部小学校には、学校でやってみたいことがあれば、気軽に仲間を集めてやってみよう、自分の考えを実現しようという素敵なプロジェクトがあります。名前は、この指とまれプロジェクトです。

一回目は、子どもたちが計画から実行まで全部やり遂げた劇でした。二回目は、1分間回し続けるフラフープ大会でした。

すばらしい劇を見ながら「この劇、最高」、フラフープを回している姿から「あの子、すごい」と歓声があがっていました。子どもたちは、ほめられることで自己肯定感を高め、成功を今後の力としてさらに成長をしていきます。学校生活の中で、「あの子ってすごい」「自分もあんなふうになってみたい」が飛び出す場面をたくさんつくっていききたいものです。



「どの子も自分にはいいところがある」

2年生と4年生に「友達になるならだれ?」と題して、ドラえものの友達5人から選んでももらいました。みなさんは誰を選ばれますか。私はどの子もいいけど、強いて言えば映画の中で正義感いっぱい活躍するジャイアンを選びます。5人にはそれぞれいいところがあります。

学校にはいろいろな子がいます。様々な考えの子がいます。みんな同じでは、楽しくないですね。違いがあるから「自分にはいいところがある」「自分は必要とされている」ことに気づかされます。子どもたちが、授業も遊びもいろいろな子がいるから楽しいと思えるような学校にしていきたいと思っています。

	2年生	4年生
1	しずか	のび太
2	のび太	しずか
3	出木杉	スネ夫
4	ジャイアン	
5	スネ夫	

「リフレーミング」

子どもたちは挑戦、失敗を繰り返しながら、自分の壁を一つずつ乗り越えたり、他者と折り合いをつけたりしながら成長していきます。そのためには、まず、自分を大切にし、自分の良さに気づき、自信をもって前へ進む力をつけさせたいと思います。そこで、先日の朝礼では、リフレーミングの話をしました。

リフレーミングとは「見方を変えると気持ちが変わる」というものです。例えば、「でしやばり?」は「お世話好きで人の役に立ちたい」。「すぐまわりを気にしてしまう?」は、「まわりに気配りができる」と短所や欠点と思えることも見方を変えれば長所になります。今、保健室前の掲示板も、リフレーミングの内容になっています。ご来校の際には、ぜひご覧ください。子どもたちが自信をもち、笑顔の花をさらに咲かせることができるよう、引き続き見守り応援していきます。